

# 地域連携 CSC 向山 (Community Support Center 向山)

## 1. ねらい

- (1) 授業のさらなる充実のために保護者や地域に住む人たちの支援を得る。
- (2) 学校の教育環境をさらに充実させるために保護者や地域に住む人の支援を得る。

## 2. 内 容

### (1) 学習支援

国語（習字 読み聞かせ 教材作成）  
算数（教材作成）  
理科（実験器具作成 教材作成）  
社会（教材作成 地域教材指導補助）  
生活（自然、動物に関する指導補助 地域教材指導補助 昔の遊び指導補助）  
音楽（楽器指導補助）  
図工（のこぎり等危険教具指導補助）  
家庭（ミシン教材指導補助 裁縫指導補助）  
体育（器械運動指導補助 水泳指導補助）  
教科外（体力運動能力テスト補助等）

### (2) クラブ活動支援

- ・ クラブ活動支援など  
(平成26年度支援例：年間を通じ、日本の伝統クラブに茶道、華道の先生にお出で頂き、ご指導頂いた。)

### (3) 環境整備

- ・ 花壇の整備、校舎清掃など  
(平成26年度支援例：学校花壇作成時にお越し頂き、緑化委員会と一緒に活動して頂いた。)

### (4) 作品展への応募

- ・ 夏休みの作品展の応募票作成など  
(平成26年度支援例：夏休み応募作品の応募票を作成して頂いた。)

### (5) 校外学習などの引率補助

(平成26年度支援例：4年生の広瀬川学習の際に、引率補助をして頂いた。)

### (6) その他

(平成26年度支援例：図書室用いすの足カバーを作成して頂いた。  
昔の遊び用お手玉やあやとり用の紐を作成して頂いた。  
季節ごとにイベントを実施して頂いた。)

### 3. CSC 向山の登録

#### (1) 登録方法

- ① 年度初めに登録申し込み用紙を配布し、登録者を募る。
- ② 登録の際には、学校の望む分野を明記するとともに、登録者の得意分野も記入してもらう。
- ③ 転入者の保護者には、転入手続きの際に申込用紙を配布する。

#### (2) 登録者への説明

- ① 登録者には、趣旨説明を行う。
- ② 支援要請までの手順について説明する。

### 4. 活用方法

活用に際しては、地域連携担当やスーパーバイザーが、窓口として各学年の希望を聞き、CSC 向山登録者の中から要請をする。

#### (1) 学習支援要請の場合の活用の流れ

- ① 各学年・クラスで支援のほしい内容を決める。
- ② 地域連携担当へ申し出る。
- ③ 地域連携担当が、CSC 向山のスーパーバイザーと連絡を取り、適任者を選出する。  
(各学年・クラスで適任者を選出する場合もある。)
- ④ 適任者決定後は、地域連携担当や CSC 向山スーパーバイザーが連絡交渉にあたる。
- ⑤ 支援決定後は、支援者と担当が打ち合わせを行う。(必要な時)

#### (2) クラブ活動支援

- ① クラブ決定後にクラブ担当者が要請を考える。
- ② 支援要請を決めた時は、地域連携担当か CSC 向山のスーパーバイザーに申し出をし、要請を行う。

#### (3) 学校環境整備の場合の流れ

- ① 校務分掌担当が、教頭と検討する。
- ② 支援要請を決めた場合は、職員会議に提案する。
- ③ 職員会議で支援要請が決定した場合は、地域連携担当か CSC 向山のスーパーバイザーが支援者を要請する。

#### (4) その他

上記の場合以外等は、地域連携担当や教頭と検討する。

### 5. その他

- ① 学校の CSC 向山だけでなく、市民センターの人材バンクも活用する。
- ② 活用後に CSC 向山登録者について、地域連携担当へ情報を話す。